

親と子のふれあい音楽祭

音楽祭運営委員会 委員長 田中加代

コロナウイルス感染拡大防止対策の為、3回の開催自粛を余儀なくされた西新井地区対の「親と子のふれあい音楽祭」は令和4年度従来の形での開催はできませんでしたが、地域の皆様のお陰を持ちまして、開催にこぎつけることができました。

まずは音楽祭にご理解ご協力いただきました学校関係者の皆様にお礼申しあげます。ありがとうございました今回感染予防対策として鑑賞する保護者の皆様の人数制限を設けさせていただきました。音楽祭を楽しみにされていた方申し訳ございませんでした。

3年間 学校で従来通りの音楽活動ができなかった事で小学生の合奏という形の参加はありませんでしたが、地域の音楽にふれあう鑑賞という形の参加がありました。

演奏校は3校というコンパクトな音楽祭になりましたが、各校感染対策を行いながら練習した成果を遺憾なく発揮し、素晴らしい演奏を地域の皆さんに披露してくれました。

また西新井中学校のOBバンドも音楽祭に花を添えていただきました。

小学生から大人まで異年齢が一堂に会し、音楽で心満たされた瞬間でした。

私自身音楽祭運営委員長を拝命してから初めての音楽祭となり、約半日という時程での開催の反省は、今年度開催の改善点として活かしていきたいと思います。

5月8日コロナウイルスが感染症分類5類に引き下げられましたがまだまだアフターコロナではありません。



いろいろな規制が緩和されています。しかし子ども達が失われた大切な3年間は、すぐに取り戻すことはできないでしょう。

ウィズコロナとして子ども達の安全を確保しながら今年度は従来に近い形の「ふれあい音楽祭」を開催していきたいと思います。前年度よりさらに地域の皆さんの輪(和)と音楽にふれあう音楽祭の開催に向け音楽祭企画会で討議を重ねていきたいと思います。